

おばちゃんち



140-0001品川区北品川2-28-19 品川宿交流館3階 TEL.03-3471-8610 E-mail:fureai@obachanchi.org http://obachanchi.org/ 発行: 2015.07

おばちゃんちや界限での講座や講演会が盛んです

繋がりの中で学び、広がり、何かがはじまる！

ふれあいの家ーおばちゃんち 代表理事 幾島博子

おばちゃんちには、「まなびあい広場」と呼ばれる分野の事業があります。

「Nobody's perfect完璧な親なんかいない」

「保育サポーター養成講座」

プレーパートナー養成講座「外あそびワクワク！」

「子育て広場事業交流学習会」

これらの学びの場には、年間でのべ数百人が参加をし、学びを深めながら新しい出会いの場にもなっています。

さらに、おばちゃんちの事業ごとに年間を通じて様々な研修が行われ、おばちゃんちの活動を担うスタッフとしての仲を深め、「良質なお節介おばちゃん（おじちゃん）」になるべく学んでいます。

一方、つながりの深いNPOや他団体とも、おばちゃんちが共催や協力をして、いろいろな講座や講演会が開催されています。今年度になっても

セミナー「なぜ『若者』は就職できなくなったのか？」（児美川孝一郎氏）＜共催＞

講演会「子どもの根っこは遊びで育つ！」（天野秀昭氏）＜協力＞

講演会「相手を大切に作る関わり」（副島賢和氏）＜保育協力＞

映画「こどもの時間」＜協力＞

といった企画があり、私自身も深い学びの機会となりました。

これらの学びの場は、ただ「いい話を聞いた！」で終わるのではなく、その後各個人が、それぞれの団体やグループがなにをしようとするのか？に繋がっていったこそ大きな意味を持つのだと思うのですが、各団体そんな工夫をしているように感じられました。

おばちゃんちは、ネットワークの「ハブ」のような機能も果たしていると自負しています。ですから、学びの場の企画そのものもネットワークの中で中身は充実したものに膨らみ、事前の相互連携もあり、参加者も互いに乗り入れ、企画後にも出会った中から具体的な動きが見えてくるということも少なくないようです。

何のために学ぶのか？そうなんです、「誰もが心豊かに暮らせるまちづくり」が一歩でも進んでいき、様々な動きが生まれ、その質が高くなっていく、そんな学びの場になって欲しいと切に思っています。

おばちゃんちのもう一つのまなびあい事業「ら〜ん・ういず」は、自主グループの立ち上げ、講座や講演会の企画のノウハウ、講師派遣、仲間集めなどのサポート事業です。

子育て・子育てにやさしいまちづくりをすすめるために「こんなことをしてみたい」、誰でも踏み出せるその一歩のお役に立てたらと思っています。

会員情報 (6月30日現在)

正会員	36名
支援会員	279名
賛助会員	4名
	319名

年会費・ご寄付は

郵便振替

00120-3-583720
NPO法人ふれあいの家-
おばちゃんち

ご寄付ありがとうございました (6月30日現在)

根岸慶子様 鈴木文代様 岡村紀男様 山本結子様 金崎久一様 山田巴様
西畑文治様 関戸まゆみ様 土屋順子様 幾島幸子様 中村日登美様
北品川二丁目町会金子会長様 あっこさんを送る会水野様 イオンリテール株
式会社 匿名希望3名様(願不同)

保育サポーター養成講座が始まりました。これは毎年、品川区の主催でおばちゃんちが企画運営する全10回の連続講座です。2015年度は24人の仲間で、地域での子育てを応援する保育サポーターを目指して学びあっています。

この第2回目にあたる公開講座に、Eテレ「すくすく子育て」にもご出演中の大豆生田啓友（玉川大学教育学部教授）さんをお迎えしました。



▲大豆生田啓友先生

まずご自身のお名前の読み（おおまめうだ・ひろとも）からお話に入り、3人のお子さんの育児経験を交えながらの軽快トーク。ときに涙あり笑いありで、2時間はあっという間でした。

受講後の感想の中には、「自分らしくいることが子どもにより影響を与えるというのが一番心に残りました。自分の親がどんな思いで自分に話しかけてきたか考えると涙が出てきました。乳児を置いての講座への参加を後押ししていただいた気持ちでした。」「いまどきの子育てわかっているようであらためてお話を聞くと、なるほどと思うことばかりでした。親がハッピーで笑顔で子育てできることがとて



▲会場は満員！

も大切だということがわかりました。その手助けができるようこれから学んでいけたらと思います。」「“地域の大家族化”が大切と感じました。知恵を働かせてお互いにかかわりあえるコミュニケーション力を身につけたいと思いました。」というものもあり、おばちゃんちの立場や役割についても改めて考えさせられました。

保育サポーター養成講座の受講生は、夏の保育実習と9月からの後半の講座を経て、冬には地域やおばちゃんちの保育サポーターとしてデビューすることになります。ご期待ください。

ご紹介 マメ先生が伝える
今がうれしいママたちへ

幸せ子育てのコツ

“悩んでいるのは
あなた一人ではありません”

子育て番組で親の立場に寄り添ったアドバイスが人気のマメ先生が贈るがんばるママへの応援メッセージ。

赤ちゃん和妈妈社刊
四六版 128ページ



定期総会をおこないました

2015年5月17日（日）定期総会をおこないました。

①2014年度活動報告②2014年度収支決算③2015年度活動方針（案）④2015年度役員体制⑤2015年度支払規則（案）⑥2015年度収支予算（案）の6つの議案は質疑応答の末、全会一致で可決されました。活動方針（案）の中で、おばちゃんちの5年後10年後を考

える「中長期計画検討委員会（PT=プロジェクトチーム）」の設置が提案され、可決。正会員を対象とする参画を希望する検討委員の募集を行い、中長期計画検討委員会を6月より発足しました。今後はこの検討委員会の中で、事業部制、今後の事業の在り方、新規事業、財政基盤、など様々な課題について意見交換をし、事業展開の方向性を検討していきます。詳細は、総会特集号をご参照ください。

あずかい広場 2015

子育て交流ルーム
品川宿おばちゃんち
「ほっぺ」と昭和通り
おばちゃんち「わっ
こ」では、理由を問
わない一時預かりを
おこなっています。

4月の新入園などで多少メンバーの入れ替わりがあつたものの、最近のあずかい広場「ほっぺ」・「わっこ」は小学生が職場体験に来たり、大学で保健師の勉強をされている学生さんが実習に入ったりしてにぎやかです。赤ちゃんのお世話をしたり、一緒に遊んだりして過ごし、帰るときにはみなさん「楽しかった」と笑顔で言ってくれます。子どもたち



▲ご近所の小学生



▲女の子3人ほっぺの部屋をピカピカに拭いてくれました

も、お姉さんお兄さんをよろこんで受け入れています。「ほっぺ」・「わっこ」が、みんなの懸け橋になれば嬉しいです♪もちろんいつものおばちゃんたちも元気です。新しい出会いやご縁を大切に、丁寧なふれあいを心掛けたいと思っています。

保育サポーター派遣保育「えくぼ」は、自主サークルやグループ活動の時に、2時間程度を目安にお子さんの託児や見守り保育をしています。

保育のほかにも、4月の「しながわ運河まつり」では、恒例のリサイクルバザーを行いました。また、毎月11日のイオンの「幸せの黄色いレシートキャンペーン」にも参加しています。9月19日の「ふくしまつ



▲黄色いレシートキャンペーンで購入しました



り」(中小企業センター)にも参加予定です。懐かしい、知っているおばちゃんの姿を見かけたら、ぜひお気軽に一声かけてくださいね。

ひとりじゃないよ。

子育てひろばに行こう!

近所にママ友がいなくても大丈夫、子育てひろばに行ってみませんか。どんな人がいるのかちょっと心配?ここでご紹介するひろばは、保育士のおばちゃんや、現役お母さんたちが運営しています。それぞれの持ち味を活かして、楽しくてほっとする居場所づくりをしています。

◆◆◆運営: ふれあいの家-おばちゃんち◆◆◆
(開催日はP8でご案内しています)

♥みこちゃんち(新馬場): お弁当を持って気軽に遊びに来てください。

♥しょうちゃんち(荏原中延): 困ったことや心配なことがあったら、お話を聞かせてください。

♥ほっと・サロン にじっこ: 地元ママたちと保育サポーターのおばちゃんによるチームを、保育士のこまさんがサポートしています。8月からは介護福祉士で親業インストラクターの、みっちょちゃんが登場します!

♥荏原すきっぷひろば(品川SKIP編集委員会協力): 社会福祉士のやよいちゃん&なかまたちとおしゃべりしましょう。生の「品川子育て情報」はここで!

♥大崎にこにこるーむ(にこにこ ☺ ぽっけ協力): 子育てアドバイザー他幼稚園教諭・保育士もいるよ。ママにも子どもたちにも楽しい様々なワークショップを展開中です。一緒に遊びましょう!

♥北浜こども冒険ひろば: プレーワーカーと呼ばれる「子どもの遊び」を応援する人がいます。いろんな話を聞いてくれますよ。もちろん遊びも!

◆◆◆運営: すまいりんぐ◆◆◆

♥すまいりんぐ(青物横丁): 南品川ほっとサロンで毎週金曜日(第2金曜日と祝日を除く)11時から15時まで開催しています。予約不要でいつ来てもいつ帰ってもOK。小学生ママのノリちゃんとなかまが仲良くやっています。

<http://ameblo.jp/smiring2010/>

◆◆◆運営: 子育て仲間*はらっぱ◆◆◆

♥ニコリータ(武蔵小山): 荏原ほっとサロンで毎週火曜日と水曜日(お盆と祝日を除く)11時から15時まで開催しています。今年で10年のニコリータスタッフは顔ぶれも、子どもの年齢も(大学受験生から0歳児まで)多彩です。ツキイチの持ちより昼ごはんの日は名物☆

<https://www.facebook.com/niccolita.harappa>

第8回 つたえる・つながる・めぐりあう 子どもといっしょに広がる世界... 品川子育てメッセ2015

ここ数年、7月に開催していた品川子育てメッセ。第8回をむかえる今年は、大井町のきゅりあんで2015年11月6日（金）に行います。4月より実行委員会が発足して、現在約10名の実行委員がはりきって取り組んでいます。今回のテーマは、

「おいでよ 0・1・2」

詳しいことは、決まり次第webにアップされる予定です。

<http://s-messe.com/>



▲前回（2014年）の様子



第8回 品川子育てメッセ2015

◎開催のお知らせ◎

第8回のテーマは— **おいでよ 0・1・2**

日時 **2015年11月6日(金) 10:30~15:30**

会場 **大井町駅副都心「きゅりあん」7階イベントホール他**

品川の子育て環境を一堂に集めて開催される「品川子育てメッセ」もあがりまで8回目。今年は大井町副都心の「きゅりあん」にて開催します。情報展示ブース、ステージ、ワークショップなど、毎年ママをお訪ねする情報が満載！！ぜひ、お気遣いください。

【オンライン登録・お問い合わせ】
post2015@s-messe.com

詳しくは で検索

共催予定 品川区・NPO 品川子育て支援センター・品川子育てメッセ実行委員会

子育て・子育てにやさしいまちづくりネットワークしながわ

年二回開催が恒例となった、通称「子ネット会議」。2015年度の第一回目は6月9日（火）中小企業センターで行われました。

主として品川区内で活動する団体を中心にネットワークを広げ深めることで、子育て・子育てにやさしいまちを実現していこうというのが、この会議の目的です。

今回のテーマは「品川の子育て環境...もうちょっとこうだったらなあ！あったらいいな！」。ワークショップ形式で話し合われ、『人と人との顔が見える距離で、年代も超えて情報が受け取れるような居場所が

あると良いと思う』との声が各班からあがっていました。参加団体は28、参加人数は43人でした。

発足以来、ずっとおばちゃんちが事務局を担ってきましたが、今年度からは更にみんなで参画できる

スタイルを模索していきます。ご興味のある方は、おばちゃんち事務局迄ご連絡ください。



▲ワークショップでは活発な意見交換がみられました

冒険あそび場懇談会

2015年3月18日（水）「品川の冒険遊び場のこれからを考える懇談会」が、荏原第五区民集会所で行われました。おばちゃんちの呼び掛けに応じて、行政から品川区子育て支援課（当時）、公園課、区民から自主グループの品川はらっぱ探検隊、外あそび応援、つっこ、品川区にプレーパークをつくる会。今回から、しながわ区民公園、鮫洲公園の指定管理者の企業（2社）の参加もあり、今後の冒険遊び場事業への提案・意見交換を行いました。

おばちゃんちは、北浜子ども冒険ひろばでの実績をもとに理解の輪を広げ、新しい流れも応援していきたい、専門的な全国のノウハウを学びつつ、新しい冒険あそび場に検討の段階から参画していきたいと考えます。

これからも現場の管理者の皆さんの応援とご指導をいただきながら、行政と区民とで一緒に魅力的な居場所を作っていけたらと思います。活動の内容やペースは違っても、今後もそれぞれの立場で、できることをやろうとの思いを強くしました。

つながる

自主グループ活動紹介

遊びは、子どもにとって生きることそのもの。子どもの「遊びたい」「やってみよう」をもっと応援するために、主として0歳～小学生の子どもをもつ親たちで結成された“品川区にプレーパークをつくる会”。1日プレーパーク「そとぼ～よ！」が、子どもゆめ基金の助成を受けて、2015年5月から毎月第2日曜日と第4水曜日にしながわ区民公園で定期開催となりました！応援団も大募集中です。開催スケジュールなどは、webを参照してください。

<https://sotoboyo.amebaownd.com/>

あそぼ



こどもの育ちを応援するもうひとつの自主グループ“外遊び応援”の連続講座を紹介します。

まなぶ

“外遊び応援”は保護者向けの講座のほかにも、乳幼児親子の「もくりんピック」（月2回）、小学生対象の「林試の森チャレンジ隊」（年8回）を自然豊かな都立林試の森公園で行っています。開催スケジュールや講座の問い合わせ・申し込みはwebからお願いします。

<http://ameblo.jp/sotoasobiouen/>

<学校と家庭の体験活動を応援する連続講座>

日にち	テーマ	講師
7/13	「こどもの時間」上映会	
9/11	品川でできる「こどもの時間」～広まる 大人と子どもの冒険遊び場	北浜子ども冒険ひろば 宮里和則さん
10/3	社会で必要な学力の真実～止められない勉強、働けない子ども	奈良女子大学名誉教授 浜田寿美男さん
10/25 11/15	世界とつながる21世紀の教育～学びの自由、国際バカロレア教育他	東京インターナショナルスクール代表 坪谷ニューエルさん
12/13	生き方を変える探求型の学び～子どもと大人がともにたくらむ	東京コミュニティスクール 校長 市川力さん
1/17	講座の総まとめ～その夢 叶えましょう	目黒区議会議員 広吉敦子さん

よみもの おばちゃんち特別コラム

選挙権の年齢引き下げを考える

来年の夏の参議院議員選挙から、選挙権年齢が現在の20歳以上から18歳以上に引き下げられる法案が成立しました。

わが家の高校2年生は、まさに“選挙権を持つ最初の10代”になりました。

今はまだ17歳。彼の学年では、来年の7月半ばまでに誕生日を迎える生徒…学年の4分の1が有権者となる境目の学年となります。

学校で「政治」を教えるといっても、議会制の歴史が主で、今の政治に直接繋がることに関しては様々な差しさわりがあるためか、授業として教えることは難しいのだそうです。

今後、何がしかのかたちで学ぶ機会は出てきそうです。個々の政党の考え方を学ぶ必要はないと思いますが、審議されてる内容に関して「自分はどう考えるのか」を発表しあえる場があるといいのになと思います。

息子は「来年投票に行く権利を持つ人」と意識した

ことで、自分に責任ができたと思ったようで、「きちんと考えての1票もいい加減に入れる1票も同じ重さなのは残念なことだね…」と言いながらも、1票を無駄にしたいくない気持ちが芽生えたようです。

「お母さんはどう思う？」という問いかけに、これまでも誠実に答えてきた気持ちはありますが、今後は、より1個人としての考え方を対等な大人同士の気持ちで、そして、「一生懸命考えることは大事だよ」ということも含めて伝えていきたいなと思いました。“自分に関わりのない未来のことなどどうでもいい”と思う大人は少なくないと感じますが、子どもと関わりのある人たちからまず、気持ちを変えていけたらいいですね。

(よし)

▼朝日新聞の記事



「思いやり あなたと私の 地域の“わ”」

民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、及び必要な援助を行う無報酬のボランティアです。また、福祉事務所や児童相談所など行政の協力機関としても様々な活動を行っています。

【民生委員】 それぞれの地域において、ひとり暮らしの高齢者などの援助活動をはじめ、地域福祉に関する相談に応じ、暮らしを支援していきます。

【児童委員】 民生委員は、児童委員を兼ねています。児童や乳幼児、妊産婦等の福祉や保護等のための相談や援助を行っています。 http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kiban/sodan/minnsei_jidou/minsei.html (東京都HPより)

東京都民生委員・児童委員のキャラクター「ミンジー」▼

意外と身近な民生委員・児童委員の活動



今年度より地元町会からの推薦で、地区の民生委員・児童委員をお引き受けしました。

任命後まずは、品川区の研修を1日、東京都の研修を3日間受講して、その後担当地域にデビューしました。民生委員の主な活動は、地域ブロックに分かれて、高齢者（ひとり）世帯の居宅訪問やシルバーサロン運営のお手伝い、民生委員の月一回の協議会（通称：民協）への出席などです。

品川には240人前後の民生委員がいます。1期3年で、次の一回の斉改選（3年ごと）は来年度（2016年）12月1日です。現在多くの地域で次期選任候補者を探しているほど、選出は困難な傾向にあると聞いています。ご関心のある方は、所属町会（長）にご相談されるのがよいかと思います（まずは町会長等の推薦が必要になるので）。地域でボランティア活動をしている方や、福祉、教育（PTA）などに理解のある方、そのような業種での就労経験のある方は比較的推薦されやすいと思います。

私も以前は、民生委員なんて知りませんでした。民生委員は児童委員も兼任しているので、地域福祉としての高齢者のサポート活動だけでなく、子どもの問題も扱います。自分が関わってみて初めて、学校の先生にも、民生委員はともかく主任児童委員を知ってほしいと感じました。主に中学校区域単位で、主任児童委員を中心として児童センター職員等との地域連絡会が定期的



に開かれ、地域の子どもたちについての情報共有が行われています。学校だけに児童の家庭内の把握を担わせるので

はなく、そういう制度があることを知った上で、地域にまかせられることはまかせ、連携して、教員ならでのことに時間と労力を発揮して、ひとりの児童を複数の大人で守りたいものです。

なにぶん初めての世界。自分も果たしてできるのか悩んだとき、ネットで検索しても、民生委員のリアルな経験談の情報の少なさに愕然としました。しかし今回の記事のような啓発活動のような情報発信はできるものの、個人情報扱うことから、守秘義務が課せられています。活動が相談や援助を含むことから、「担当民生委員がなんでも情報発信してしまう」という印象を与えてしまうのは、担当区域の住民の方にとって、本来の民生委員としての活動を妨げてしまうことにもつながりかねず、実は民生委員についての情報発信のさじ加減を目下調整中であります。

いま担っている経験豊富な方々が発信してくださるといいのですが、人生の大先輩が多く（定年は73才）、まだまだ現在はアナログで情報伝達や報告が行われている世界です。ただ、タブレットの普及に伴い、エリア限定で民生委員の活動報告をiPadで行う実証実験が行われ、徐々にIT化の波が寄せてきてはいるようです。

今年は介護保険制度の改正があり、ホームなどの入所対象者が原則要介護3以上となりました。また区内では荏原平塚学園前に、かなり大きな特養が建設中です。いまから10年後、オリンピックが終わったあとの2025年には、団塊世代が後期高齢者となります。保育園待機児問題で悩まされる我々世代は、次の問題も抱えていると言えます。もちろん差し迫った課題もありますが、すること、できること、できないことの見極めの経験をこれから重ねていけるように努めたいと思います。

民生委員・児童委員の意義・役割について、ぜひ多くの方に関心を持っていただけると嬉しいです。（寄稿・たけ）

里親を知っていますか？

子どもを地域の人々で見守り育てようと声かけが始まって久しいですが、『子ども』とひと言で言っても、子どもの置かれている家庭や環境は千差万別です。中には、実の親と暮らせない子どももいます。そんな実の親と暮らせない子どもを児童福祉法に基づき、里子として預かり、家庭で育てている人を里親といいます。

おばちゃんちのおばちゃんおじちゃんの中にも、里親として活躍している方や経験のある方、『機会があればやってみたい』という方、いろいろな方がいらっやいます。しかし、一般的に「里親・里子」についてはなかなか知られていないことも多いようです。

そこで突然ですがクイズです。さて、何問ぐらい正解できるでしょうか？

Q1 親と一緒に暮らせない子ども（0歳～18歳）が東京都にはだいたい何人ぐらいいる？

- 1) 約400人 2) 約4000人 3) 約40000人

Q2 親と一緒に暮らせない子どもの約何割が里親のもとで暮らしている？

- 1) 約1割 2) 約3割 3) 約5割

Q3 里親制度は児童相談所の担当だが、品川児童相談所はどこにある？

- 1) 品川区内にある 2) 品川区外にある

Q4 品川児童相談所の管轄内には里親家庭（養育家庭）は何家庭ぐらい登録されている？

- 1) 約3000家庭 2) 約300家庭 3) 約30家庭

Q5 里親になるには、結婚していないとだめ？

- 1) 結婚していないとだめ 2) 独身でも大丈夫 3) 現在独身でも過去に実子を育てた経験があればOK

Q6 私は66歳。まだまだ元気。里親になれる？

- 1) になれる 2) ならない 3) 短期の里親であればなる

Q7 うちの実の子どもがいるから、里親にはならない？

- 1) になれる 2) ならない

【答え】

A1 2 都内には親と一緒に暮らせない子どもが約4000人います。都内の児童総人数が約180万人なので、都内の児童の約0.2%が親と一緒に暮らせていないこととなります。*1

A2 1 約4000人の子どものうち約1割（約400人ほど）が、里親家庭で暮らしています。残りの2割がグループホーム、7割が児童養護施設（乳児院を含む）で暮らしています。*1

A3 1 品川児童相談所は、おばちゃんち事務所やほっぺのすぐそば、京急新馬場駅徒歩3分のところにあります。品川児童相談所は、品川区だけでなく大田区と目黒区も管轄しています。

A4 3 養育家庭は約30家庭、登録されています。里親には、養育里親、専門養育里親、親族里親、養子縁組里親の4種類があります。養育家庭とは、養子縁組を目的とせず一定期間養育する里親の家庭です。品川児童相談所管内の総世帯数は約70万世帯なので、養育家庭の割合は0.004%となり、約2万5千家庭に1家庭の割合になります。

A5 2 独身でも大丈夫です。ただし、養育経験があること又は保健士、保育士、看護師等の資格があること、養育を補助する20歳以上の同居家族がいること、などいくつかの条件を全て満たす必要があります。*2

A6 3 里親（養育里親）になれる年齢は、主たる養育者の年齢が25歳以上65歳未満とされています。ただし、短期（2ヶ月以内）やレスパイト（他の里親が預かっているお子さんを数日だけ預かる）限定の里親であれば65歳以上でも申し込むことが可能です。（平成18年より変更となりました）*2

A7 1 実子がいても、いなくても里親になることができます。また、1家庭に同時に預かることのできる里子は4人までとされています。ただし、実子がいる場合には、実子と里子を合わせて6人まで、になります。（例：実子が3人いる場合は、里子は3人まで）*2

何問ぐらい正解できたでしょうか？

東京都では「養育家庭」のことを『ほっとファミリー』という愛称で呼んでいます。♡のマークのロゴ、どこかで見たことがあるでしょうか？ポスターが児童センターなどに貼られています。今度探してみてくださいね！（寄稿・まえ）



<参考資料>

*1 社会的養護の措置人員の推移 東京都福祉保健局 平成25年度 及び東京都総務局統計部人口統計課「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」より

*2 東京都里親認定基準（養育家庭）より



おばちゃんち かつどうよてい



おばちゃんちからのお知らせは、twitterやfacebookでもチェック！ <http://obachanchi.org/>

ふれあい
広場



おばちゃんちのふたつの子育て交流ルームでは、毎週月曜日にふれあい広場を開催しています。栄養士による食育相談、保育士、臨床心理士、社会福祉士による相談もおこなえます。どうぞ親子でおでかけください。

- 1.開催日：祝日を除く 毎週月曜日
- 2.時間：11時から15時
- 3.参加費：1家族100円

「みこちゃんち」

会場：品川宿おばちゃんち
(北品川2-19-6)

「しょうちゃんち」

会場：昭和通りおばちゃんち
(西中延2-18-1)

「北浜こども冒険ひろば」

- 1.開催日：祝日を除く月～土曜日
- 2.時間：14時から18時 ※第1・3水曜日は11時から
- 3.会場：北浜こども冒険ひろば(北品川2-28)
- 4.参加費：無料

☆北浜だよりを月初めに発行、近隣区立小学校と品川区内の児童センターなどで配布しています。

ほっと・サロン@八潮「にじっこ」

- 1.開催日：祝日を除く毎週木曜日
- 2.時間：13時から15時
- 3.会場：こみゅにていぶらざ八潮1F託児室(八潮5-9-11)
- 4.参加費：1家族100円(初回無料)

一緒にあそぼう 「ホットほっとHOT」

- 1.開催日：2015年9月27日(日)
- 2.時間：11時から15時
- 3.会場：北品川周辺の児童センターか公園
- 4.参加費：おとな100円

★詳細はwebでお知らせします

「荏原すきっぷひろば」

- 1.開催日：祝日と第3を除く毎週月曜日
 - 2.時間：10時30分から14時30分
 - 3.会場：荏原区民センター集會室(荏原5-6-5)
 - 4.参加費：無料
※一部イベント等に実費負担あり
- ☆協力：品川SKIP編集委員会
✉ skip@obachanchi.org

「大崎にこにこるーむ」

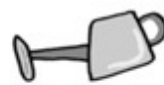
- 1.開催日：祝日を除く毎週月曜日(★8月はお休みです★)
 - 2.時間：10時30分から14時30分
 - 3.会場：大崎三五町集會室(大崎5-2-1)
 - 4.参加費：無料
※一部イベント等に実費負担あり
- ☆協力：にこにこぼっけ
✉ nikoniko@obachanchi.org

ほっぺ わっこ

子育て交流ルーム
「品川宿おばちゃんち」
tel.03-5463-6458
北品川2-19-6

子育て交流ルーム
「昭和通りおばちゃんち」
tel.03-5749-3212
西中延2-18-1

月曜から土曜までの、9時から17時までやっています(土曜日は預かり状況で変更することがあります)。おばちゃんち年会費2500円で両方の施設をご利用いただけます。4時間以内の基本保育料は品川区在住在勤の方は1時間500円で、延長保育は1時間600円になります。区外在住の方等、詳しくはお問い合わせ下さい。



あずかり
広場

サポーター派遣保育

えくぼ

自主サークルや団体が講座や講演会などを行っている間のグループ保育に、保育サポーターを派遣します。活動の主旨などにより利用条件が異なります。詳しくはお問い合わせ下さい。



ご寄附ありがとうございました

アサヒビール株式会社CSR「エコマイレージ」制度により、ご寄附をいただきました。この制度は従業員のボランティア活動をポイント化し、それをもとに算出した金額を地域の団体へ寄付するものだそうです。ありがとうございました。

http://www.asahibeer.co.jp/csr/philanthropy/social/social_mileage.html

